



◆発行◆
鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆
川畑初夫
◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島

年頭の辞



隊友会員及びご家族の皆様には、おそろい

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます
県隊友会の平成25年度最大事業である九州・沖縄ブロック研修会鹿児島大会は、県の役員各位及び各支部長等のご配慮並びにお手伝い頂いた会

年頭に際して



明けましておめでとうございます。

公益社団法人隊友会鹿児島県隊友会の皆様にはおだやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

隊友会は、自衛隊の活動への協力や防衛意識の普及・高揚など、国民と

に関する協定を締結し、県隊友会として大規模災害等から県民の生命、身体及び財産を守る体制を確立しました。これに基づき各支部には関係市町村との間に同種の協定を締結するようお願いしているところですが、

昨年5月に霧島市と国分支部が、12月末には鹿児島市と鹿児島地区協議会が協定を締結致しました。各支部も協議を進めて頂きたいと思っております。この協定は締結が目的ではありません。県民の生命、身体及び財産を守るのが目的です。「一画竜点睛を欠く」ことが無いよう普段の準備を周到にして、いざと言う時には

締結させて頂いていただきました。隊友会の皆様にはこれまで、国民保護訓練や防災訓練への参加など、自衛官任官中に培われた経験や能力を生かし、ご協力を頂いておりますが、

また、昨年、霧島市で開催されました九州・沖縄ブロック研修会鹿児島大会では、隊友会活動の充実と九州・沖縄各県隊友会相互の連携強化という所期の目的を達成され大成功の内に終了されましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年3月には、「大規模災害時における隊友会の協力に関する協定」を

現職の頃鍛えた体力・精神力と災害救援時に得たノウハウを生かして県民の安全安心に貢献したいと思います。

また公益事業として1支部1奉仕作業をお願いし、各支部にはこれを実行して頂いております。会員の皆様には、時間の許す範囲で奉仕作業に参加頂き達成感を感じて頂きたいと思っております。引き籠りはいつでも出来ます。やるのは今でしょ。外にかけ皆のために動きましよう。

親睦事業は、隊友の絆を深め退会者減少のための身近な施策です。各支部で創意を凝らした事業を計画し、誘い合って参加者を増やし絆を深めて下さい。

泣こかい
泣こよつか
ひつ跳べ！

また、陸上自衛隊西部方面隊の皆様が南スーダンの国土建設にそれぞれ派遣され、困難な環境や情勢の中、立派に任務を遂行して全員無事に帰国されました。

本県におきましても、離島急患搬送及び各種防災訓練への参加などに大きく御貢献いただいております。

今日の自衛隊を取り巻く環境は、国際安全保障

新年のご挨拶

第12普通科連隊長
兼ねて国分駐屯地司令



新年あけましておめでとうございます。

隊友会の皆様におかれましては、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、先行きの見えない尖閣諸島問題や核及び弾道ミサイル、好調な経済を背景に往事の影響を取り戻しつつあるロシアなど我が国を取りまく情勢は依然厳しいものがあります。

また、国内に目を向けると、昨年は幸いにも県下は大規模な自然災害には見舞われなかったものの、伊豆大島における土砂災害は20年前の豪雨災害を彷彿とさせ、水害の脅威を実感させるもの

を受けました。また、競技会では、日本で最も過酷と言われる富士登山駅伝に優勝するなど国分自衛隊の名を全国に轟かせました。

我々がこのように国内外で専心職務に邁進できるのも、隊友会の皆様を始めとした地域の皆様のご理解やご協力があればこそと改めて感謝申し上げます。

隊員の約8割が県内出身者という郷土部隊として、また、永くこの尚武の地鹿児島に駐屯し、多くの皆様を支えられてきた部隊として、「皆様から頂いた高い評価は、大きな期待の裏返しである」との自覚のもと、本年も、いかなる任務を与えられても所命必遂できる信頼される部隊の育成に引き続き務めて参ります

昨年は東京オリンピックの開催決定や国産新型ロケット「イプシロン」

ましては、自らの経験をもとに、自衛隊の後方支援や防衛思想の啓発活動に、精力的に活動頂いております事に、深甚なる敬意を表する次第であります。

申し上げますまでもなく本県は、南北600キロに及ぶ海岸線や多くの有人離島を抱え、台風など災害発生常襲地帯でもあることから、県民の自衛隊に対する信頼と期待は絶大なものがあります。



帰線

【特定秘密保護法案について考える】

特定秘密保護法案の目的・指定・適正評価・特定秘密の対象等要旨を読む限り、やつと一歩前進し、普通の国家になつてきたと小生は考える。▼何故、野党・マスコミ関係者・一部国民が反対するのか、小生には理解できない。特定秘密保護法案提出の背景は、内部告発サイト「ウイキリークス」による米政府の内部文書暴露・尖閣諸島付近での中国漁船による巡視船衝突映像の動画投稿サイトの公開等一度ネット上に情報が露出すれば、コントロール不可能である事、中国の尖閣列島付近での活動・一方的な防空識別圏の設定に見られるように第一列島線から第二列島線への拡張及び北朝鮮の動向等に伴う米国を含む関係国との外交・安全保障上の必要性、また、世界各地でのテロ活動の頻発等によるものと考えられる。▼報道によると反対の理由として「知る権利を侵害」との語句が、随所に出てくるが、「知る義務を遵守」の語句は、ほとんど使われていない。知り得る立場の人が、「知る義務を遵守」するのは、当然であり、それが「特定秘密保護法」であると考へては、如何ですか！▼戦後教育の間違った権利的民主主義教育のせいとかくマスコミ等報道は、権利主義を助長しすぎるくらいがある。「権利・義務」は表裏一体であることを常に忘れてはいけない事を再認識する必要がある。

新年のご挨拶

鹿児島県議会
自由民主党防衛調査会



明けましておめでとうございます。

中国や韓国・北朝鮮等における政治情勢が不安定な中、新たな年が幕を開けました。

隊友会の皆様におかれ

私ども鹿児島県議会防衛調査会は、本県の持つ特性から、県民の防衛意識の高揚と自衛隊に対する理解を深め、支援協力することを目的とし、自民党県議団36人で構成し活動しているものであります。

これまでも、県議会において政府に対し防衛に関する意見書の提出や講演会の開催、又自衛隊における式典や激励会など参加協力を行ってきたところであります。

今後とも、隊友会の皆様との連携を深めながら、わが国の平和と民生安定を願い、活動してまいります。

結びに、隊友会の皆様へ、ご健勝ご多幸を祈念申し上げます。

平成26年元旦

特別寄稿

目覚めよ日本人

私は平成13年8月号の隊友新聞に「御霊安らかなれと祈る」との題で寄稿し「英霊の慰霊顕彰」について、隊友会の使命として貢献すべきと訴えた。そして現下の日本の状況を見ると、英霊の皆様が申し訳なく顔向け出来ない恥ずかしさを覚える」と書いた。この「なぜ恥ずかしいか」について補足したい。

私は、多くの人材の中から選抜された優秀な方々であった。若しこの方々が生存されていたならば、恐らく戦後の日本は世界をリードする「一等国」になっていたであろうと確信できる。残念ながら今の日本は英霊たちが命を賭けて守りぬいた日本ではない。最も重要な政治が不安定である。平成18年の安倍総理から平成24年の野田総理まで一人の在任期間わずか1カ年で6人の総理が交代を賭けて守りぬいた日本ではない。最も重要な政治が不安定である。平成18年の安倍総理から平成24年の野田総理まで一人の在任期間わずか1カ年で6人の総理が交代



相談役 中原敏實

68年かけても領土問題さえ解決できない。ロシアとの北方領土・韓国との竹島・中国との尖閣諸島・北朝鮮との拉致問題。尖閣諸島は実効支配しているとは言っても、中国は毎日のように領海侵犯・領空侵犯を繰り返している。日本は足元をみられて完全に嘗められている。いくら経済的には豊かになつたと言っても前記のような国家の尊厳にかかわるような現実がある以上、最早日本は「3等

国」である。日本全国の英霊が祭られた靖国神社に一国の総理大臣が参拝出来ない国が、どうして「独立国家」か。

今の日本を英霊の皆様は何と見るか「平和とはこんなものだったのか、俺たちは何のために死んだのか」と言う悲痛な叫びが聞こえる。

東京オリンピックが決まり日本が浮かれています。大事なこと、日本が平和で安心安全な国であること、が大前提である。この前提無くして平和の祭典であるオリンピックは成立しない。この事を国民特に政治家にしっかりと認識してもらい、今後強力な防衛力と強固な愛国心こそが「一等国」への道であること

を訴え「目覚めよ日本人」と警鐘を鳴らし続けた。結果は居住市町村が被災地区となつた時に参加すると回答した人は、活動時に制限有りを含めて819人のうち205人で全体の25%、県内災害時は参加するが145人で18%、県外の災害時にも活動する意志有りが19人であった。これらの活動意志有りとする人が70歳から80歳前後の大先輩方がかなり占めたのには特筆すべきものがあつた。

情報協力者八百人

大規模災害時

大規模災害時に第12普通科連隊への情報協力者として登録された県隊友会員は第12普通連の直接委嘱者を含めて22支部、819人となつた。

平成23年度から始まつたこの情報提供協力者登録名簿作成は、現県隊友会会長の川畑会長が第2GP副会長時に各常務理事・支部長等の協力を得て、第12普通連の災害派遣時における情報提供要請に基づき目的の地までの道路や河川状況、また被災地の状況等を適時・適切に通報し、部隊行動を円滑にして、災害によ



理事 新村松一郎

今年度、新たな取組みとして情報協力者を対象と大規模災害発生時に

に県内外災害発生時の協力意志有無の調査等を行い気力・体力の実態や地域等へのボランティア意欲を調査させて頂いた。結果は居住市町村が被災地区となつた時に参加すると回答した人は、活動時に制限有りを含めて819人のうち205人で全体の25%、県内災害時は参加するが145人で18%、県外の災害時にも活動する意志有りが19人であった。これらの活動意志有りとする人が70歳から80歳前後の大先輩方がかなり占めたのには特筆すべきものがあつた。



自慢のひょうたんを背におじいちゃんとお孫さん (国分支部 大寺輝幸会員とお孫さん)

ける協定を25年3月に締結した。県協定締結に続き各自自治体では国分支部と霧島市の協定締結に続き、昨年末に、鹿児島地区協議会が鹿児島市との協定を締結した。今後、各地域において各市町村と各支部との災害時の協定締結が一支部でも拡大出来れば、この上ない喜びである。

県戦没者追悼式

隊友会長を初招待

平成25年度(第49回)鹿児島県戦没者追悼式が、10月30日鹿児島市の県総合体育館で行われ、昨年より川畑会長が、昨年から川畑会長の働きかけもあり来賓として県隊友会長も招待されるようになり、今年には会長所用のため代理出席しました。

式は戊辰戦争から太平洋戦争の間において犠牲となられた鹿児島県出身の戦没者(81,300人)及び一般戦死没者(4,422人)を追悼し、永遠の平和を祈念するという趣旨で毎年開催されています。

遺族は、県内離島も含め、全市町村から多くの方が会場一杯に参加されており、県知事・市町村

長・県議会議員、各市町村の遺族代表が式辞や献花を捧げていました。自衛隊からは、鹿児島・川内司令並びに関係者として鹿児島県戦没者墓地顕彰会長が指名・献花されていました。公益社団法人たる県隊友会長が、式典に正式招待されるようになったことは、望ましいことです。今後とも多面に亘り存在感を高めて行く必要があると思われました。おわりに12普通音楽部の演奏は少人数ではありましたが、厳かさの中に一段と存在感があつたことを報告させて頂きました。合掌

第6回目となる本大会ですが、現役の自衛官並びにOBに防衛協力諸団体の会員も参加する「鹿児島県オール自衛隊のゴルフ大会」として、ゴルフ愛好者が1年に1度集う大会です。



多くの参加者で賑わったコンペ

ゴルフ大会盛大に開催

大などから参加があり各人、普段接することのないメンバーとプレーを通じての親睦がなされ、意義ある大会となりました。

実行委員長は県隊友会総括副会長でもある海上自衛隊鹿児島0B会の平田会長で、隊友会の支援事業として位置づけています。今年は10月13日(日)、晴天に恵まれ、霧島市福山町の桜島CCにて、52人が参加して開催されました。現役の参加が少なかったものの国分駐屯地・鹿屋基地から14人が参加、隊友会・海自鹿児島0B会・銃剣道連盟・父兄会・第一工

家族作え

私のおじいちゃんとは、とてもやさしくていい人です。たまに、しろ山公園や川につれてつてくれま

家族作え



野球の応援でおじいちゃんとお孫さん (国分支部 大寺輝幸会員とお孫さん)

僕の将来の夢は、野球選手だ。理由は、今野球をしていて将来の事を考えたら、プロ野球選手になりたいな、としか思いつかなかったからです。あと一つあります。それは、バレンティン選手

やイチロー選手みたいになりたいからです。バレンティン選手みたいにたくさんホームランを打って、イチロー選手みたいにたくさんヒットを打つたりたくさんファインプレーをしたいからです。今僕が頑張っていることは、夢に向かってたくさん素振りをしてたりたくさん守備の練習をしたりしています。また、僕は野球のキャプテンをしています。キャプテンは、チームにヒットを打ちたいのに打てなかったり、守りきるところで守れなかったりしているの

受賞

おめでとう

◎叙勲受賞

(秋の叙勲)

★瑞宝小綬章 (防衛功労)

加治木(陸) 田島 勝征 鹿屋 協(海) 立元 四郎

★瑞宝双光章 (危険業務)

東市来(陸) 中村 孝一 知名(空) 西川 克

深渡瀬五男 古園 敏郎

★瑞宝単光章 (危険業務)

鹿屋(海) 桶田 誠博 鹿屋 誠喜 下野 寛喜

中村 文雄 国分(陸)

◎全国隊友会長表彰

★団体 鹿屋地区協議会 協

★個人 鹿屋地区協議会 協

久木 田親則 殿

テイン選手やイチロー選手みたいになりたいです 伊集院小6年 安楽光弘

若き防人 南薩路を歩

金峰支部



記念品を贈呈する会員

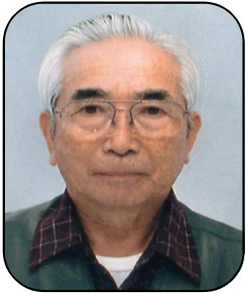
台風27号の接近が懸念されるなか、進路を確認して10月25日、27日、12普連3中隊の精鋭が、警備担当地区の現況確認と徒歩行進能力の向上を兼ね、中隊の存在感を顕示する目的で訓練が実施された。

一方、南さつま市万世

掛上恕記

会員紹介

鹿児島県地区協議会 久木田親則



実施するようになりました。

更に、家族融和、健康の維持、併せて隊友会の市・県大会の練習を兼ねて、毎週土曜には寺山公園で家族グランドゴルフを楽しむようになりました。

ところで、喜寿を過ぎると心ならずとも「生と死」について考える時間が多くなってきましたが、このような隊友会活動を少しでも長く続けながら残りの人生を元気で充実したものになりたいと日々考えているところです。

また会の活性化のためボランティア活動を始め、福祉活動、陸軍墓地及び吉野帯迫の戦没者慰霊碑周辺等の清掃等を

「何事にも前向きに」

私は平成24年11月12普連3中隊を最後に定年退官いたしました。

再就職に当たっての心構えは、資格・経験はありませんが、自衛隊で培った仕事に対する強い責任感及び体力・氣力を活かして「何事にも前向きに取り組む」ということだけを考えていました。

仕事にあたって一番大切なことは「健康第一」です。自らが心身ともに健康な状態でなければ、お客様に対して安心・サービスを提供することは出来ませんので日頃の健康管理には細心の注意を払いながら、「何事にも前向きに」取り組んでいます。



業務中の筆者

会員紹介

国分支部 恒吉 勝彦



自衛隊に34年間勤務退官後は三井住友銀行に11年間勤務した。

隊友会との出会いは、現役時の鹿児島県地方連絡部で隊友会担当を命ぜられてからであり、25年も前のことだ。隊友会担当時に九州・沖縄ブロック研修会が開催され支援主務者として失敗した苦い思い出がある。

隊友会には、自衛隊と国民の架け橋だと言われるが、現役時に官民の交流と広報を考え、当時の部長におはら祭への参加をご相談し、心よく承諾して頂いた嬉しい思い出がある。

伊集院町 護国神社清掃奉仕



清掃活動後の快汗(感)な顔々々

伊集院町護国神社は、それまで町内の別な場所です。昭和19年に現在の城山公園の麓に移されて名称が変わりました。

戊辰の役、日清、日露の戦争、日支事変並びに大東亜戦争に係わった、

伊集院支部長 林孝二郎 記

福祉交流フェア 「わくわくバザー」に参加



販売中の会員達

一日でも早く就職が決定されるようお勧めいたします。再就職にあたりましては、人間、最初は一生懸命でも慣れてくれば妥協しがちです。「初心を忘れず」与えられた仕事に全力で取り組んで頂きたいと思っています。

今も鹿児島県地方協力本部は、関連団体(隊友会含む)の協力の下11月開催のおはら祭に参加している。

また、平成8年に始めた日本酒会も17年目を迎えて112回を数えている。参加者20数名で始めた会であったが、回を重ね50名程度に増え官民交流の場、広報の場として受け継がれている。

後藤光一 記

「匠の技 冴える」



匠の技で作製された看板

秋香の南薩摩路の一角、県立南薩少年自然の家、入口に、丈夫ですばらしい掲示板を設置した。これは、隊友兼父兄会長の宇田四郎氏邸宅門前に市から掲示板設置の許可を取得し、隊友坂口鉄夫氏(現83歳大工経験)の匠の技と鹿児島地本知覧所の永野所長の彫刻ブ

父兄会、隊友会及び知覧分駐所の皆に知らせる活用が期待される。すでに地域の話題になり、足を止める人も多くなっている。

支部長 掛上恕 記

吉田シラスICID登録

シラス (100g ¥2,300) - (30g ¥600)

吉田シラス(鹿児島産)から誕生した天然洗顔石鹸

シロアリ防除・駆除・リフォームのご相談なら
日本衛生センターにお任せください。
調査・お見積りは無料!!

株式会社日本衛生センター 鹿児島県鹿児島市下電町25番27号
0120-202-208
http://www.nippon-ec.com/
http://www.sirasu.co.jp

- 薩摩川内支部 池脇 重夫
- 花田 義行
- 樋脇支部 砂田 國利
- 南さつま支部 高森 國親
- 隼人支部 永田 忠男
- 外山 功
- 限元 隆紀
- 鹿児島地協

謹んで
ご冥福を

